

IT機器を活用した「生きる力」を育む授業の創造

—小学校低学年の授業へのITの活用を中心に—

長野県塩尻市立塩尻東小学校 中村 聡士

1 研究のねらい

本校では、平成15年8月に機器の更新、校内LAN整備が行われ、すべての教室でコンピュータを使った授業を行うことができるようになった。そこで、

- (1) 日常の授業で一層のITの活用を図り、コンピュータ教室以外でのITの活用方法を全校体制で検討することでより魅力ある授業を目指すこと
- (2) 課題追究力・自己表現力を高めるためのITの効果的な活用方法をこれまで活用する機会が少なかった低学年を中心に検討すること

に取り組むことで、全校研究テーマ「生きる力を育む授業の創造」の実現を目指すとともに、すべての教員がコンピュータを使った授業ができることを目指し実践を試みた。

2 日常の授業でのITの活用

すべての職員がITを活用した授業ができるようにするために、職員研修、授業の準備へ情報教育係として協力を行ってきた。またNTT東日本長野支店の協力でメディアコーディネーター1名を1週間派遣していただき、全クラスの授業にティームティーチング形式で関わっていただいた。その結果、授業に関わるすべての職員がITを活用した授業を少なくとも1単元は行うことができた。

実践した内容は実践事例集にまとめ、19事例を本校のホームページに「日々の授業でのITの活用」として公開している。詳しくは、そちらをご覧ください。

塩尻東小学校ホームページアドレス <http://www.shiojirihigashi-e.ed.jp/>

3 課題追究力・自己表現力を高めるためのITの活用

1・2年生において、デジタルカメラの動画撮影機能を活用した実践を行った。

[1年国語科 わたしのたからもの]

自分の宝物を友だちやお家の人に紹介する学習で、発表の練習を行う場面でデジタルカメラを活用した。話すときのめあてをもつ→話す練習をする→デジタルカメラで録画する(写真1)→動画をノートパソコンで見返し、自己評価・相互評価する(写真2)という学習サイクルを数回繰り返し行った。映像で自分の話す様子を振り返るので、「もっと口を大きく開けたい」「聞く人の方を見て話したい」などと、自らさらにめあてをもって学習に取り組むことができた。

この実践以外にも2年生の国語科、音楽科、体育科の学習でも、録画、見返しのサイクルを繰り返す学習を行った。



写真 1



写真 2

4 成果・課題

- ・職員の間でIT機器活用のための情報交換が活発に行われるようになってきた。情報を共有し、新たな実践につなげていきたい。
- ・動画で自分の表現を振り返ることは、一人ひとりの児童が自分を客観的に見つめ、新たな課題を持ったり、自分の表現の高まりを実感したりすることができ、追究する意欲を継続させ、自分の表現に自信をもつことにつながった。また教師は、動画をもとに具体的に励ましや助言を一人ひとりの子どもに行うことができた。
- ・めあてに対する手立て（こうすればめあてが達成できそうだ）を明確にもって活動できなかった児童にとっては、振り返りがあいまいなものになってしまった。めあてを達成するための具体的な方策が一人ひとり明確になるようにする必要がある。
- ・低学年でも機器を学習の道具として使いこなす姿が見られた。また、自ら学習に取り組もうとする姿勢が見られるようになってきた。